

「入会して3カ月の変化」

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人多言語広場 CELULAS のメルマガ—第70号—

初夏の講演会が各地で開催され、お話会やオープンセルラスが各地で行われています。

私の所属するピアザにも講演会参加者のご家族が体験にいらっしゃいました。

毎回目にするのは、メンバーの子供たちの張り切りようです。新しい人に会えるのが嬉しそうです。

さて、今回の話題は、まだ入会して間もない方の体験をご紹介します。

入会3カ月にして、すでにいろんな発見をしていて、私も読みながら初心に帰ることができました!

【目次】

《1》 「自分の持つ術(すべ)を全部使って伝えること」

安田さん(家族構成:夫 長男6歳 長女11ヵ月)

《2》 セルラス インフォメーション

《1》 「自分の持つ術(すべ)を全部使って伝えること」

安田さん(家族構成:夫 長男6歳 長女11ヵ月)

【子育てのモヤモヤしていた霧が晴れました!】

私は6歳の息子と0歳の娘を持つ育児休業中の母です。

育児休業取得中に息子に何か習い事をさせたいと考えていましたが、ママ友やインターネットなど習い事情報は溢れていて、何を軸にして決めればいいのか自分では整理ができなくなっていました。

そんな折、子供が保育園からセルラス講演会のチラシを持ち帰りました。

「子供の将来にはどんな人材が求められているのか」という言葉に、これだ!とハートをわしづかみにされ、期待いっぱい、講演会に参加しました。

鈴木理事長の講演内容は私の子育てに対するモヤモヤの霧をすっと晴れさせてくださる内容でした。

- ・言葉と向き合うのではなく人と向き合う
 - ・外国語教育という考えを外す
 - ・自分の言葉を受け取ってくれる人が周りにいるか否か、家族が子供のやっていることを受け取っているか否かが大切
 - ・家を建てる時にいきなり屋根から建てないのと同じで土台作りが大切
- など共感するお話が沢山ありました。

【子供の人生 走り抜くのは子供自身!】

そして講演を聞きながら、日頃の子育てを振り返ってみると、

「将来役に立つからこれを習いなさい」

「そっちはいいからこっちをやりなさい」

「それはダメダメ!」

と事前に失敗（成功への階段）という成長のチャンスを子供から奪っている自分に気づきました。

子供の人生をマラソンに例えるなら走り抜くのは子供自身。親は決して代わりに走ってはあげられない。

でも幼いころから走り抜くための体力と気力・考える力のベースを養う環境を与えてあげることは親である私にもできる事かもしれないと感じました。

じゃあ一体どうやって育てればいいのか?何をすれば? その答えがこのセルラスにあるかもしれないと感じオープンセルラスに参加しました。

【相手に伝えたい!が先だった…】

実際参加してみると、一定のシーンをイメージするためのロールプレイやシャドウイングにとっても戸惑いました。

「これで自主性や多言語なんて身に付くのかなあ…」 そう思いこの足を踏みしました。

帰宅して息子に「今日参加してみてどうだった?」と尋ねると「楽しかったよ。また行ってみたい!」と彼は答えましたが、私自身は入会するか否か決め切れずモヤモヤしていました。

今度は思い切って平日の午前中に開催された大人のスーパーピアザに参加させていただきました。

オープンセルラスでは息子の付き添いというスタンスでしたが、今回は自分のために参加してみました。

衝撃だったのは多言語自己紹介。とにかく知っている単語、ジェスチャーなど自分の持つ術を全て使い相手に伝える。

自分も相手の言っていることを一生懸命聞こうとする。もう必死の状況でした。

これまで私は英単語を丸暗記しないと英語は話せないものと思っていました。

でも覚えなきゃと思えば思うほど、頭が拒絶反応を起こして挫折する悪循環。

でも相手に伝えたいから多言語を覚えたい!話したい!に考えがシフトすると気持ちも 180 度変化しました。

【入会してからの私たちの変化】

そしてようやく入会を決意! 心の耳が開花するとでもいうのでしょうか (笑)

学生時代の大半拒絶反応を起こしていた耳が外国語を聴こうとするのです。

今ではロールプレイやシャドウイングへの抵抗はなくなり、家事の合間 BGM 代わりに CD を聞いています。時にはシャドウイングを息子に披露して「ママすごいじゃん!」と褒められて喜んでいるほど (笑)

まだ入会して数ヶ月ですが私の気持ちはこのように変化しました。

そして6歳の息子は毎週のピアザを一度も休みたいと言ったことがありません。

私が本人の許可なく欠席の連絡を入れようものなら「何で勝手にお休みにするんだ!」と怒り出すほど。

またつい先日は緊張して人前で話すことが苦手な息子が自分からプレゼンしたいとピアザで手を挙げました。

実際は緊張して二言三言しか話せませんでしたが彼にとっては大きな一步を踏み出せた達成感で一杯の表情をしていて、母親としては嬉しく愛おしい気持ちでいっぱいになりました。

TVで英語の教育番組を見つけると食い入るように見えています。

私が一度も教えたことのないアルファベットも勝手に覚えては毎日書いて見せてくれます。

オラ!グラシアス!どんどん多言語のボキャブラリーが増えていきます。

現在11ヶ月の娘は、シャドウイングを始めると「あ〜あ〜」と声をだします。

みんなが拍手すると一緒に手をたたきます。きっと彼女の中でもなにかが開花し始めているのかもしれない。

【コミュニケーションのための根っこを養う場＝ピアザ】

ピアザにはまだ一度も参加した事がない主人は、私たちの様子を見ていて「何だか羨ましくなってきた…」と言います。

偶然にもセルラスに入会を決めたタイミングで主人は海外の仕事に部署が異動になりました。

英語・中国語・ベトナム語など一気に多言語に触れることとなり当初は不安そうにしていたのですが、実際現地に行ってみると流暢には話せなくても相手に向き合い伝えようとするとはとかなるといなのです。

それを聞いてなるほどなあと思いました。これまで私は英語を話して間違えたらどうしよう、上手に話せなくて変に思われたら嫌だなあ…と行動よりも恥をかきたくない気持ちが先行していました。

でもピアザに「伝えようとする行動」を誰も笑ったり馬鹿にしたりする人はいません。

むしろ受け入れてくれます。

自分の考えを「あなたはそんな風に思ったのね。素敵ね。」と大切にしてくれます。

その安心感が自己肯定感につながるのかもしれない。

とにかく、きれいにカッコよくなると、見栄を張らずに、自分の持つ術を全部使って伝えてみる。

それが私の中で一番の変化だったのかもしれない。

セルラスでの活動を当初は「外国語習得のための習い事」のように感じていました。

でも今ではもっと人間（ヒト）とコミュニケーションをとるうえで大切な根っこの部分を養っている場だと感じています。

親>子の関係から親=子の対等の関係で取り組めるセルラスの活動。この貴重な時間を今後も大切にしていきたいと思っています。

《2》 セルラス インフォメーション

◆初夏の講演会「世界に通じる力を育てる」◆

講演会「世界に通じる力を育てる」の基調講演が各地で行われます。
まだ参加したことのないご家族やお友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

<中野>

6/19(火) 午前・6/20(水) 夜

▼関西

<芦屋>

6/20(水) 午前・6/21(木) 午前

<六甲>

6/27(水) 午前

<垂水>

6/28(木) 午前

<新長田>

6/29(金) 午前

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または
本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください。

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

最新号9号では、「セルラスの目指す世界」について、当法人の理事長が書いております。

また特集「教えて『あなたの取り組み』」では、メンバーたちの多言語活動に取り組む中での発見がたくさん掲載されています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ http://celulas.or.jp/?page_id=399

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。